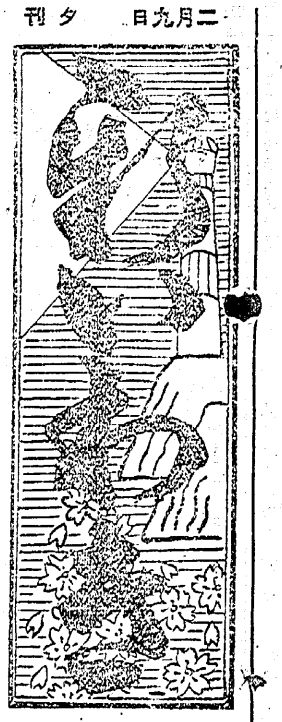
（昭和五年三月廿一日 第三種郵便物認可）　昭和十年二月十日【日刊】　新いわき　【日曜日】第一千三百九十四號（一）

二月九日　夕刊



休日　日曜祭日
一ヶ月　二十五錢
郵税十五錢一部二錢
廣告料一行四十錢
場所指定　弐拾錢增
發行兼編輯印刷人　平谷政吉
發行所　福島縣平町大町二三
新いわき新聞社

平町の明年度豫算
卅四萬五六千圓か
卅五萬圓は當然の膨張として
特戸割の十八圓が惱み

平町の明年度豫算は屢報の如く大体三十九万圓を最高限度として編成の荒剝りを終り尚ほ町内の一部から一、二の要求がある模様であるが假りに其れを組入れても右總額の上には異動を生ぜしめぬ理事者の意向で再檢討中にある新豫算が前年の當初豫算卅三萬三千百廿四圓に比して約一萬七千圓の増額を見ねばならぬ内容は小學校の一學級増加及び水道の補給改良工事並に土木關係費や都市計畫費その他當然計上を止め得ないものゝみで多年の懸案であつた町西部の排水路工事過般地元の各區長連署で陳情された縣社子鍬倉神社前から古鍛冶、紺屋町材木町を横斷して新川に惡水を吐くヒームパイプ埋設工事約一萬圓を地元寄附二千圓の懸命を容れて三ケ年繼續に仕組まれるらしいものが若干の新味を見せる位のもの而して該案に對する歳入は補助關係方面を別とし町税收入に幾分の増加を見込み水道收入にも五千圓位の増收を算圖したにしても特戸割の増額は免かれる所でなく前年度平均額の十七圓三十錢より七十錢を上げる十八圓は多少の躊躇を窺はれ理事者の頭を惱ます所は此の點の如く之れを五十錢程度とする前記總額への響きは或は三十四萬五六千圓に切詰められるであらうかとも見られもするがさるにしても四、五千圓の豫備費を置ける筈とせば安全な豫算であり結局此の邊が妥當案でなからうかと

常識講座

マテリアリズムとは物質主義のこと人間一切の行爲の原因を經濟的慾望に歸着せしむる唯物主義、人間の考への中にある非科學的な散漫な傾向にあるものを唯物で以て片付る主義

郡農會定時總會
明年度の事業計畫
凶作豫防對策を主眼に
總予算二萬一千余圓

石城郡農會の定時總會は今九日午前十時から平町各種團体事務所に於て諸橋會長以下代議員關係者等百餘名出席開會直ちに九年度の決算報告に次いで十年度の事業計畫案を協議左記原案を承認した

町村駐在技術員設置講習講話會開催による農事の普及　採種圃設置奬勵　各種副業の奬勵　品評會と表彰　自給肥奬勵　小麥菜種　養蚕　蚕繭工の組合設置奬勵　農事視察奬勵　農事實行組合　農産物の配給改善　印刷物並協議會による農村更生の指導　凶作防止對策町村農會補助　團体補助　以上十二萬一千七百八十九圓と決定

年度事業計畫により總豫算額此の町村負擔割當額は

（関單位）

泉	二九九	錦	三一一
渡邊	二一〇	植田	二八八
山田	二五九	上遠野	三五八
入遠野	二六九	川部	一九二
田人	四八	平	一三九
飯野	三一〇	夏井	二四九
高久	二一五	豊間	一二一
江名	一三七	鹿島	二三一
小名	一一三	玉川	三二三
磐崎	三一三	湯本	一一七
内都	一九六	好間	二四四
赤井	二四二	永戸	二〇六
三坂	二三一	神谷	一五五
草野	三七〇	大浦	二七二
四倉	一〇五	大野	二八四
平窪	二五九	小川	二一八
川前	二二八	勿來	二九八

光榮の表彰者内定
道路工夫の府野房吉氏
以下郡内から三氏
功勞者として知事から

來る十一日紀元節の佳辰に際し伊藤本縣知事は縣内各方面の功勞者を表彰する事になりかねて表彰者の人選中であつたが本郡關係で内定したのは左記四氏で各れも當日光榮の表彰を受くる筈

△道路愛護功勞者平土木監督所工夫平町府野房吉
△町税事務功勞者平町役場書記岩立淺藏
△教育功勞者湯本町小學校長篠原保治
△優良警察官植田警察署在勤巡査石井網治

右光榮四氏中第一位表彰の平監督所詰道路工夫府野房吉さんは本年五十四歳平町久保町に居住して七年前から現職に就いたが小野新町平線の縣道擔任を命ぜられて以來雨の日も風の日もシャブロ片手に一日一瞬も休みなく我身の樣に愛護し續けて稀れに見る優良道路としてさしも難路の同路線を今日更生せしめたものである

濱通の木炭生産高
一萬七千二百俵增
二月は舊正月で減産の豫想
累計では九十五萬俵增

平木炭檢査支所管内濱通り三郡去る一月の檢査高は三十二萬二千五百四十一俵で前十二月の二十九萬五千三百十三俵より二萬七千二百三十八俵の増加であるが舊正月を控いた生産に前月に比して石城は二萬一千十五俵を増加する十三萬七千二百二十二俵、双葉は七千六百四十七俵増の十四萬二千五百四十五俵を示したに反し相馬郡のみは一千六百三十五俵を減ずる四萬二千七百七十二俵であつた之れを前年同期の生産高三十一萬二千三百五十六俵に較ぶれば一萬百八十五俵の増加で昨年の各郡は當月相双二郡が減産して石城だけが増産であつた尚ほ本年の累計高はこれで二百十万七千九百四俵で前年同期の累計高百二十四萬七千八百十二俵より實に九十四萬九十二俵を増加であるが今二月は減産の豫想であると

小劍士晴の一戰
各校組合せ決定
尋常科はリーグ戰
明日郡下少年劍道大會

石城武德會分會主催の第一回郡下少年劍道大會は各方面の視聽を集めて愈々明十日午前十時から平第三小學校に於て擧行することになり既報參加十一校は必勝を期し第一回の榮冠を目ざして小劍士連が猛練習を加へてゐるが尋常科出場三校はリーグ戰による事に決定抽籤の結果組合せは次の如くである

△第一回戰
平第一校　伊藤康夫　…　對　好間校　三瓶勇
安田稔　…　熊谷正雄

△第二回戰
副將　鈴木一典　…　對　平第三　竹村彌實
大將　小野勝三　…　　　武田省三
副將　齋藤寛　…　　　今田實
大將　渡邊正雄　…　　　大島大三郎
鈴木茂　…　　　金成柱一

▲第三回戰
第三對第一選手順位は前記の通り尚高等科は各校對抗の勝拔戰とし最終まで勝殘つた二校を以て決戰優勝を決定する

裝飾陳列全く成りて
參觀を待つ繭品評
繭量四百五十貫の試驗成績を
一點毎に示す實質的記録

平町片倉製糸の繭品評會は明後十一日からの開催に迫り正門の大アーチから場内の裝飾と出品の陳列を整へ參觀者を待つのみとなつたが三千三百廿七點の特約組合産繭は總量六百六十五貫四百匁で之れを貫三圓の買受價に見積り内四百五十貫匁を試驗に供した繰糸工費延人員約六百人並に供試品を屑糸とする處理だけでも損害三千圓に上るもので殘る二百十五貫の陳列には一點毎に試驗成績を提示し

單繭重　單繊維　色澤　解舒糸長　切歩

の採點から糸目、繰目及びセルブレンによるライ節、均齊等の綜合點を現はして等級を附した實質的のもので外觀や推測による肉眼鑑定とは全然趣を異にし製糸家側が眞に算盤に載せて懐勘定に合ふ所の正直な提唱には最も重要な繊維の如き品種と飼育とによつて蚕家に意の如くである實例を示し綜合點數九十八點までに進む謂所九十八%の優等繭に石城郡田人村の田岡朝重、同小宅好文、山田村澤田美雄當業等の出品があり相當に廣い乾操場の階上階下に列べられた唯に養蚕當業のみの見るべきものとしてゞなく蚕糸に對する智識の爲め一般人及び學生等にも見學の必要があり京都高等蠶糸校出品の參考並に全國各地から出陳された農蚕具類の實演など見るべきものが山と積まれてゐる尚ほ今回の演藝場に充てた新築の講堂も内面八十坪百六十疊敷の大廣間で從業員の慰安場に用ひられる外場内を仕切れば催青室にも養蠶室にも又繭置場にも利用される文化的の構造で相當考へさせられる建築である

森川親分斬りの眞犯人？四名
昨夜小名濱に潜伏中
手配により平署に檢擧

東京市内に於ける某重大犯人平地方に潜伏の形跡ありとの警視廳からの飛電により平署では全管内に網を張り捜査中であつたが七日午後十時頃小名濱町字定西大工職木村宗一郎方に同町築港人夫に化けて潜伏してゐる東京市足立區千住町居住柳下組乾分菊地清一郎(二三)以下三名を逮捕今九日千住署から深川、猪股、富田三刑事が來平前記三名を引取り厳重護送した菊地等一味四名の犯罪内容は極秘に附されてゐるが去月二十七日午後七時頃東京足立區本町二ノ二一五土木請負業森川組森川一利(二七)が附近の鶴の湯で入浴中豫ねて縄張りの事から爭ひを續けてゐた同町柳下組茨木の德事鏡田德五郎氏の乾分數名が日本刀を拔身の儘で振りかざして斬り込み森川氏を慘殺逃走したが程經て二名の柳下組乾分が自誠して來たが眞犯人でないらしいとの鑑定の下に捜査を續けてゐたもので前記菊地等を眞犯人と睨み遂に平署の手によつて逮捕されたものである

林保組合表彰式

平署管内林野保護組合の表彰式は既報の通り今九日午前十時から平署會議室に於て擧行横山平署長から表彰狀を授與したが當日の表彰者は左記七十二名である

▲平窪村鈴木德雄外八名▲飯野村山野邊喜一外八名▲神谷村八幡定一外七名▲夏井村阿部安清外七名▲下小川組合箱崎重平外五名▲三坂村内石鶴治外五名▲上小川組合大橋信一外二名▲澤渡村阿部彌孝外三名▲鹿島村佐藤榮一外四名▲合戸組合折笠捨次郎外二名▲渡戸組合會田春雄外一名▲高野組合高萩保外三名▲下永井柴崎彌三郎外二名▲上永井菜谷喜三郎外一名▲柳小屋遠藤榮▲横川内倉佐藤丑藏

家出三男
友人の許に潜伏か

茨城縣東茨郡白河村農柳瀬藏之助長男信(三三)は去年二十八日突然無斷で家出行方を晦ましたが友人の當時好間村小田炭礦に居る島田辰彌の許を訪ねた形跡あり今九日平署に捜索方願出た

甘酒漬（二）

縣農講同窓會

漬け汁をふき取つたものを器物に入れ、その中に堅炊きの甘酒を入れて掻き廻し、拘子で押しつけ、平らにした上に、更に甘酒を平らにかけて蓋をかけ紙をかけて貯へて置く、どれ位過ぎれば漬かるかと云ふに暖かい時なら五時間乃至六時間から十時間、冬なら二、三日經たないと味が中まで浸み込まない、漬かつたものは中まで平らに甘くなつてゐる、食べる時には箸で拾ひ中の大根だけ取る、終には甘酒ばかり殘るから汁を掬つて又下漬けにした材料を入れて掻き廻し、前同樣にして二三度同一甘酒を使用するのである、

斯くすると終には、甘酒は水の樣になつて使へなくなるからその時はこれを糠味噌漬けの中に入れて使ふのである、

總て大事な漬け物の汁は後まで利用する、使ひない甘酒は、又菜漬け等に入れると美味しくつかる、

甘酒つけの實習要領

甘酒つけ—下つけ—一斗樽一本

材料—生大根二貫目—蓋菜二十束

塩（一、四）二合九勺、計二貫〇一四匁

重石初めは六乃至七貫目つけ汁が上つて、口直したら三乃至四貫目

つけ方—ベッタラ材料に適、せざる生大根を五分位の準突の目型に切つて清水に浸して後塩にて前記の通り下つけをなし重石をなして置く、

あま酒の製造法、

あま酒の良否は、麹の出來の良否如何によることが多い、米の麹に二種ある、否麹菌を分離したものは數種ある、普通麹には味噌麹に作る黴は黄色になり白麹と稱して白くなるもの、白くても同數を經ると黄色になる、この二種の區別は白麹は酒用に、黄色は味噌用に供する、

若人向、紳士向

冬の中折帽子とキクタイ

◆富豊柄流行新な樣

◆特選優秀ソフト　¥2,00
◆〃　國產フワー　¥5,50
◆セラフイツタ　帽　¥6,00

ヤルツ　に　電一四〇

◇一般印刷物も御引受致します

新いわき新聞社　印刷部

慢自の品良優も豚も牛

平町田町　屋　肉の御用命は

しづかに食事の出來る正しい食堂　正しい喫茶　正しい酒場

平田町　レストラン　サロン　電三五二

産婦人科　外科　藥局　院長　木村寅次郎　醫學博士　内木宗八　藥劑師　玄番彌一

平町新川町九一　入院隨意　病室完備　木村病院　電話一六四番

貸手車　新規物を格安にお譲も致します　牛谷　平町大町若松醫院隣

ガソリン　モビール油　日本石油　保式會社　特約販賣　油問屋　内油店　電話長16　磐城平

支店　茨城縣岡本驛前　電話長平潟七三　支店　郡山市驛前通　電話長三二八　油槽出張所　平町四丁目　郵便局前

内科、小兒科、外科、花柳病科、耳鼻咽喉科、レントゲン科

平町田町　高久病院　電話五一三番　院長　醫學士　高久忠

診療科目

一、齒科一般　保存科、補綴科、繼齒架工科、齒列矯正科、小兒齒科、齒槽膿漏科、

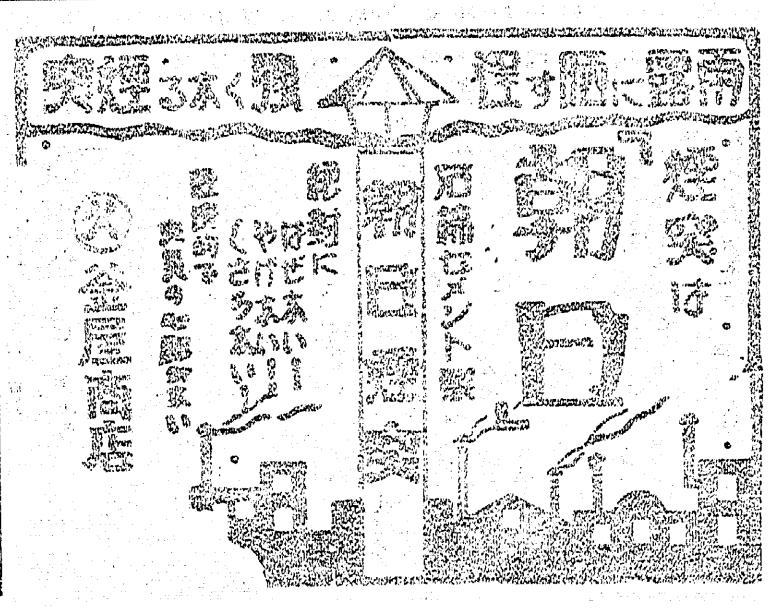
一、口腔外科

一、レントゲン科

中野齒科醫院

院長　日本齒科醫學士　中野惠次　日本齒科醫學士　西川誠

平町田町（松月堂向ひ）電話五〇九番



マグネトロン

百萬の富より健康

此新療法で病弱を御試しなさい

『治療代』は當分一回三十錢として居りますが御家庭の事情により割引も施療も致します

嘘か實か百聞一見御試し下さい

治療所　日中は城山楽楽園（電話一〇九）　日没後は一丁目自宅（電話四七〇）

醫療士　飯田近治

耳鼻咽喉科專門　醫學士　鈴木正男　平町田町（電話五八番）藤田女學校前

入院應需　鈴木醫院

店舗擴張移轉

皆樣の御ひゐきを頂いて居ります

製造販賣アサヒ靴店

世界館前に店舗擴張移轉致ました

御注文、修繕物　ゴムグツ各種　アサヒ靴店　平町驛前大塚末吉

石炭　コークス　豆炭　平町郵便局通り　水野石炭店　電話二九九番

安價で効果的な天然加里肥

最も適應する作物！

蔬菜　馬鈴薯　里芋　しやうが類

◎加里肥料ではトマト茄子の如き比較的病害に弱い作物に施用すれば抵抗力を與へ落果を防ぎます

天然加里肥は酸性でないから

◎如何に施用しても土壤を惡變する虞は絶對にありません

一俵　參拾錢（大量取引は特に御引致します）

製造販賣　金成國雅　平町鍛冶　電話六八八番

〝貨物自動車〟の御用命に應じます

入院應需　明雲堂眼科醫院　平驛前　電六六九番

◎自次の便あり◎